

ふれあい祭報告①

折り紙教室で子どもたちと素敵な時間を持ちました

乾はるみ (文化交流部会)

文化交流部会は、部会員 9 人がそれぞれ民族衣装を着て、朝 9 時から「折り紙教室」を開きました。朝早かったにもかかわらず、たくさん子どもたちが来てくれました。

かつてアメリカ人が考案したと言われる「動くハート」(Beating Heart)を始めとして、羽が動く「パタパタ鶴」(Flapping Crane)、「クリスマスツリー」、「兜」などを熱心に折りました。

国際交流協会らしく、折り紙を折りながら、子どもたちに英語の単語を発音してもらったりもしました。「だまし舟」の折り紙を持って勧誘してくれた会員のおかげで、興味を持って来てくれた子どもたちもいました。驚いたことに、折り紙 12 枚を使って折る「くす玉」をぜひ作りたいという男の子がいました。私たちも協力して見事完成させましたが、その根性に思わず拍手しました。中には、学校の自由時間に折り紙を折っているという女の子がいて、とても上手でした。折り紙が子どもたちの身近にあるということが、何だか

嬉しく感じられました。

折り紙を完成させた子どもたちには、最後に「trick-or-treat」と言ってもらって、ささやかなお菓子のプレゼントをしました。子どもたちの笑顔に心が温かくなりました。また、子どもを見守るお母様たちが国際交流協会に興味を持たれたようでした。このイベントに意味があったと感じられた瞬間でした。素敵な時間を持つことができたと思います。



子どもたちと折り紙に集中。民族衣装の会員も